

目指す環境像について

現行計画では環境と経済の両立を実現させることを念頭に置き、取組を進めてきました。

今後、パリ協定を踏まえながら、一層の温室効果ガス排出量の削減を進めていくためには、これまでの節電などのような我慢を強いるような対応ではなく、市民・事業者が進んで興味をもち、取り組んでもらえるよう日常生活や事業活動の質を向上させ、経済の発展や都市の魅力の向上につなげていくような対応が求められます。

また、温室効果ガス排出量を削減するというこれまでの対策以外にも、一部で出始めていく気候変動の影響について備えていく必要も生じています。

そこで、地球温暖化の原因となっている日頃の社会経済活動に伴うエネルギー使用のあり方について、市民・事業者・市が協力しながら考え、取り組んでいく必要があることから、本計画の目指す環境像を次のとおり定めます。

私たちのエネルギーを賢く活かせるまち あまがさき

【目指す環境像のイメージ】

- ・電気・都市ガスのような二酸化炭素の排出の原因となる「エネルギー」について他人事ではなく、自分事（私たちの）として捉え、どのような使い方が賢いのかを常に問い続けるという姿勢を大切にす
る。
- ・「エネルギー」に関する取組を活かすことで、魅力・活力のあるまちづくりに貢献していく。
- ・市民・事業者・市の想いや取組を計画に取り組んでいくための原動力（エネルギー）としていく。